

# 市制施行60周年を迎えて



阿南市長  
岩 浅 嘉 仁  
Yoshihito Iwasa  
Mayor of Anan City

私たちのふるさと阿南市は、昭和33年5月1日、当時の富岡、橘の2町が合併し、人口6万2千人、徳島県では4番目の市として産声を上げました。この年は、皇太子殿下と正田美智子様のご婚約が発表されるなど、敗戦からの復興が進む中で明るいニュースが新たな時代の到来を予感させました。しかし、阿南市は過酷な船出でした。困難な財政事情のもと、市発足時から財政再建に取り組み、昭和40年度にようやく過去の赤字を解消するに至りました。その途上、昭和39年には新産業都市の指定を受け、20年間に約500社の企業関係者が視察に訪れるなど、企業誘致に力を入れてきました。

そして、平成18年に那賀川、羽ノ浦の2町と合併し、現在では7万4千人を擁する市へと発展することができました。先人の方々のご努力が今日の本市の隆盛につながっています。

市制施行60周年の意義は、過去の歩みを顧み、その苦難の道程を今一度思い出すとともに、来たるべき次の時代に今日までの歩みをどう生かしていくかにあると思います。温故知新……。過去と現在をいきいきと結びつけることができこそ人の師になれると孔子は言っています。

ここに、市制施行60周年を記念して、阿南市の歴史を振り返る記念誌を発行いたしました。本誌が、阿南市の過去と現在を結び、そして、輝かしい未来につながる「希望の一冊」となることを願っています。

# 市制施行60周年を祝して



阿南市議会議長  
住 友 進 一  
Shinichi Sumitomo  
President of the Anan City Council

阿南市市制施行60周年を皆様とともにお祝いできますことを誇りとし、今日まで本市の発展にご尽力いただきました先輩各位、市民の皆様には深甚なる敬意と感謝を申し上げます。

阿南市は、昭和33年に県下第二の人口規模を誇る市として誕生し、平成18年の合併を経て、市民各位の大きな期待のもと、県南の中核都市として確かな歩みを続けてまいりました。

さらに、行政サービスの拠点としての新庁舎の完成、市民の命と健康を守る新病院（阿南医療センター）の開院に向けた取組、さらには、四国東南部が一体となり、新しい人の流れをつくるための地域連携などの取組により、今、新たな市政発展のスタートラインに立ち、輝かしい未来を見据えておりますことは、誠に心強い限りでございます。

60年という節目を迎え、今日までの歩みと経験を生かし、次の世代が健やかに育つことを願い、ふるさと阿南の豊かな自然と歴史・文化、そして郷土を愛する心を私たちが責任をもって継承していくことを心新たにするものであります。

市議会といたしましても、ふるさと阿南に住む幸せを次世代へつなぐことができるよう、全力で取り組んでまいります。

結びに、阿南市の前途が光輝き、希望に満ち溢れますよう、併せて市民の皆様のご多幸をご祈念申し上げます。

